

2026年度 3期 ことラー募集要項

(応募受付期間)

2025年12月21日(日)～2026年2月3日(火)消印有効

(活動条件)

1. アートコミュニケーターの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、ワークショップや講座等、学びのコミュニティに無料で参加できます。
2. アートコミュニケーターの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人とこと!こと?かわさき双方の合意のうえ登録更新し、最長3年間とします。
3. こと!こと?かわさきのウェブサイト等を読んだり、Eメールでの連絡ができること。
4. 活動拠点となることルームや近隣の施設等で活動に参加できること。主な活動時間は10時～17時です。ことルームを日常の拠点とし、講座や実践活動は文化施設や街中などの川崎市各所で行います。

拠点

ことルーム
川崎市多摩区登戸2092-8 第8井出ビル6階

(応募条件)

1. 18歳以上の方(2026年4月1日現在)で、日本語で日常会話ができる方
2. アートやコミュニケーションに関心があり、積極的に学び、川崎市内で活動する意欲のある方
3. こと!こと?かわさきの趣旨に共感して活動できる方
4. 2026年4月～6月の基礎講座全6回に原則として全て参加可能な方

基礎講座日程

2026年4月12日(日)、4月26日(日)、5月10日(日)、5月24日(日)、6月7日(日)、6月21日(日)
いずれも10時～15時予定

5. 2026年7月以降、月2回以上の活動に参加可能な方
6. Eメールでの連絡、Googleカレンダーなどのウェブツールの操作及び使用が可能な方



ウェブサイトはこちらから
<https://kotokoto-kawasaki.com>

(選考スケジュール) 募集人数 30名

応募受付期間

2025年12月21日(日)～2026年2月3日(火)消印有効

一次選考 書類審査選考

結果は2026年2月17日(火)発送で応募者全員にお知らせします。

二次選考 面接審査

2026年3月7日(土)・8日(日)・9日(月)のいずれか1日
面接は川崎市役所本庁舎で行います。
選考結果は2026年3月17日(火)発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

(応募方法)

以下の書類を郵送してください。

● 応募用紙

「アートコミュニケーター応募用紙」に必要事項を記入してください。
※「こと!こと?かわさき」ウェブサイトよりダウンロードしてください。
<https://kotokoto-kawasaki.com>

● 課題作文

A4用紙1枚(様式自由)

課題

アートコミュニケーターに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって貴重な体験について述べてください。

(A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですが、A4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。)

● 返信用封筒1通

定形封筒(長形3号)に110円切手を貼付のうえ、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記し、同封してください。

郵送の際には、封筒の表面に「アートコミュニケーター応募書類在中」と朱記してください。

(応募書類郵送先)

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所本庁舎21階
川崎市市民文化局市民文化振興室
こと!こと?かわさきアートコミュニケーター募集担当宛

※提出いただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。
※応募者の個人情報は、アートコミュニケーターの選考に関する以外は一切使用しません。



日々の暮らしのなかで、孤独や孤立を感じる人は少なくありません。こうした孤独や孤立に向き合うためには、地域で暮らす私たち一人ひとりが関心と理解を寄せる姿勢や仕組みが求められています。こと!こと?かわさきでは、今年度も文化的な活動を通して人々が関わり合いを持ち、誰もが自分なりの居方を見出せるような活動に取り組んできました。

今回のフォーラムでは、まちに根ざしつながりのある館づくりを目指すアトレ川崎の武田文慶さんと、病気があってもなくても安心して暮らせるまちを目指す暮らしの保健室の西智弘さんをお迎えし、アートコミュニケーター(ことラー)の活動を振り返りながら、困ったり不安な時に話を聞いてもらえる日常のつながりをどのように育てていけるのか、それぞれの実践からの視点を交えて共に考えます。



第1部

13:00～15:30

会場：川崎市役所本庁舎2階ホール | 定員：180名(要事前申込・先着順) | ※手話通訳、文字表示支援あり。

トークセッション1

まち×ひと×アートコミュニケーター=〇〇

- アートコミュニケーター
- 近藤乃梨子 (東京藝術大学 特任研究員/こと!こと?かわさきプロジェクトマネージャー)
- 西智弘 (一般社団法人プラスケア 代表理事/川崎市立井田病院 腫瘍内科医師)

第2部

15:45～17:00

会場：川崎市役所本庁舎復元棟2階201会議室 | ことラーが日頃の活動を紹介します。時間内はご自由に入退室できます。

ことラーによるオープンセッション

- ことラボ紹介
- ことラーによる見どころ体験ツアー@市本庁舎15:45～16:30(定員15名/要事前申込・先着順)

日時：2025年12月21日(日) | 第1部 13:00～15:30(受付開始 12:30) | 第2部 15:45～17:00

会場：川崎市役所本庁舎 川崎市川崎区宮本町1番地

参加申込方法：第一部と、第二部の「ことラーによる見どころ体験ツアー」は、申込フォームからお申し込みください。

参加費：無料

主催：川崎市、東京藝術大学 / 共催：共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点 / 企画運営：こと!こと?かわさき

お問い合わせ 川崎市市民文化局市民文化振興室 こと!こと?かわさき担当

電話：044-200-3170 / ファクス：044-200-3248

メールアドレス：contact@kotokoto-kawasaki.com / ウェブサイト：https://kotokoto-kawasaki.com

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所本庁舎21階



2026年度
3期

ことラー募集!

川崎で活動する「アートコミュニケーター」を「ことラー」とよびます。

募集人数

30名

※切

2/3

消印有効



「こと!こと?かわさき」は、まち全体をフィールドとし、アート(文化芸術)を介して、人と人、人と場所、人とモノの間に「こと」を生み出し、人々がつながり合う「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。活動の主体となるのは、アートコミュニケーター「ことラー」です。ことラーがまちのあちこちで集い、人・モノ・コト等を対話でつないでいきます。

こと!こと?かわさきは、

アートでつながる「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。

「こと!こと?かわさき」は、川崎のまち全体をフィールドとし、アート(文化芸術)を介して、人と人、人と場所、人とモノの間に「こと」を生み出し、人々がつながり合う「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。

広く一般から集まったアートコミュニケータ「ことラー」と川崎市と東京藝術大学が連携して取り組みます。

プロジェクトでは、川崎市内の文化芸術資源を活用し、文化施設だけでなく福祉や医療の現場とも連携して、アートを介したコミュニケーションを創出します。また、新たなミュージアムの開設を見据えて、市民がまちの中で文化芸術を共有しあい、ともに未来を描けるコミュニティを育みます。

まち全体をフィールドに!

川崎市が目指すアート・フォー・オールで、みんなが元気に暮らせるまちに

身体的にも、精神的にも、社会的にも、そして文化的にもその人らしくいきいきとられることは、私たちが生活をしていくうえで欠かせないことです。川崎市が取り組む「アート・フォー・オール」は、誰もが文化芸術に触れ、参加できる環境づくりをすすめています。こと!こと?かわさきでも、ことラーとの活動を通して、アート・フォー・オールの実現に向けて取り組んでいます。

また、東京藝術大学が中核となる「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点(ART共創拠点)」のプロジェクトのひとつとして、ことラーの活動が人々の間につながりをつくる文化活動「文化的処方」となり、市民の手で豊かな地域社会を育んでいくことを目指しています。

たとえばこんな活動をします

- 市内の文化芸術資源を巡るプログラム
- 作品を通して多様な人と視点を共有し合う鑑賞プログラム
- 市民ミュージアムの活動と連携したプログラム
- 医療や福祉とコラボレーションしたプログラム



ART共創拠点や文化的処方について詳細は、<https://kyoso.geidai.ac.jp>をご覧ください。

こんな活動がうまれました!

アートコミュニケータ「ことラー」は、アートを介して「こと」を起こす人々です。

ことラーは、アートを介して「こと」を起こす人々です。様々な背景や興味関心を持つ人々が集い、対話を重ねることから活動が始まります。会社員や学生、フリーランサー、専業主婦、退職後の方など、多彩な人々で構成されています。

ことラーとしての活動は3年間。その後は、プロジェクトの外へコミュニティの輪を広げ、市内各所で「アートで人々がつながっているまち」をつくっていくことを期待しています。緩やかにつながり合うアートコミュニケータの活動やネットワークが、人々と社会を結び、「対話のある社会」、「多様性が尊重される社会」、「孤立しない社会」の実現を目指します。

学ぶこと・実践すること

まずはじめに!

基礎講座 4月～6月・全6回

活動を進める方法や対話の場づくり、アートを介したコミュニケーションとはどのようなものかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の考え方をディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。

いよいよ実践!

実践講座 7月～



活動フィールドとなる川崎にすでにある、魅力ある資源を多角的に捉えていきます。



対話型鑑賞の実践を通して、アートを介した対話の場づくりを目指します。



年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが安心できるコミュニケーションのあり方を考えます。

集うこと・育むこと

アイデアを育てよう!

ことラボ

新しい活動のアイデアがひらめいたら、「この指とまれ!」で他のことラーを集めてチームを作ります。3人以上集まったら、「ことラボ」のはじまりです。講座で学んだことやそれぞれの得意なことを持ち寄り、オリジナルの活動を展開していきます。



ノボリトキリトル

まちなかの空き地で開催するミニ展覧会で、お互いの気になる視点を共有し合う鑑賞プログラムを行いました。



Bubblesで夏祭り

療育センターに通う子どもと家族のために、アート作品《Bubbles》を安心して楽しく体験できる場づくりをしました。



古本を使って作品作り

ことラー同士の交流ラボ。古本に自由に絵を描きながら、個人の想いや時間(過去と今)を共有するひとときを過ごしました。

他のことラーと話す中で、自分の考えに固執しすぎず歩み寄っていくこと、考えを更新していくこと、行動に移してみることで違った世界をみる事ができました。モヤモヤも良かったと思えるようになりました。



網嶋さん

アートコミュニケーションではきくことが大事になるというのが、日常生活でも実践できることだった。講座の後に会う人への向き合い方ががらりと変わり、相手の反応も変わり、世界が変わったような気がした。



安藤さん

「アートは人の心の中にある」という言葉が印象に残った。何かを見たときに心が動く瞬間こそがアートなのだという考え方に共感した。何となく気になる、ちょっと好きかもと思う日常が地域の魅力になると感じた。



佐藤さん

どうしても自分も何か言わなければと焦ってしまうこともありますが、聞くこと、そこにいることこそが大事なのではないかと思いました。もっともっとオープンな心を持ちたいと思っています。



山添さん

いろんなことラーがいて、みんなそれぞれ。お互いの思いや状況を大切にしながら活動するのは難しい時もあるけど、うまくいくこともないながらも、真摯に楽しみ味わいながら取り組みたいと思っています。



北村さん

ことラーの活動の様子はnoteで発信しています!

